

大会開催における新型コロナ感染対策

大会名称 第36回全日本学生拳法個人選手権大会  
開催日時 令和3年10月24日(日) 12:30～  
開催会場 名古屋市露橋スポーツセンター

本大会開催に際しましては大会役員で種々討議を重ねて参りましたが、本連盟加盟大学に練習活動を調査致しましたところ、既に練習再開し本大会開催を要望する多数の声が寄せられました。ただし残念ながら大会参加が認められない大学も見受けられました。

そこで、専門家「感染症専門医」と感性防止対策指導をもとに大会主催者としてのガイドラインを作成し、このガイドラインを遵守することで本大会開催を決定致しました。

しかしながら、変化する社会情勢(コロナ感染状況)をリアルタイムに検証し、大会中止も視野に入れて冷静着実に判断致します。

本大会の種々の情報提供は随時、学連ホームページに掲載します。

● 感染予防対策ガイドライン

- ・大会当日までにワクチン接種(2回)を推奨します。
- ・選手・指導者・大会役員は大会開催日より逆算して2週間分の体調管理(体温37.5度以上、その他の体調不調)して保管しておく。体調不調の者は参加させない。
- ・選手・指導者は代表監督の責任において確認管理(フォーマットは各大学作成)する。
- ・大会役員は大会会長の指導下で各部署で確認管理する
- ・露橋SC会場収容定員アリーナ1,600人、観覧席1,300人に対して500人未満「ソーシャルディスタンス」を確保して実施する。
- ・出入口分別各1箇所とし、入り口では消毒と検温を実施。
- ・3階観客席4カ所・メインアリーナ入口4カ所に消毒液設置
- ・本大会全参加者にココアアプリの導入依頼。
- ・開会式・表彰式・閉会式は行わず来賓招待も行わない。
- ・各大学試合開始一時間前前に会場入り～敗戦選手は順次帰宅。
- ・入賞者は別室にて代表者が表彰状・副賞の授受を行う。
- ・アリーナには観客席配置は行わない。観客席は3階のみに配席。各選手は離れて着席。
- ・応援は本学連に登録された選手・マネージャーとのみとして、一般観戦参加者の入場は不可とする。
- ・選手・指導者の試合前の円陣(士気鼓舞)は禁止。
- ・選手・指導者・観客共に声援は行わず応援は拍手とする。
- ・選手の給水は各自個別のものを準備する。
- ・大会会場内の全参加者のマスク着用義務。※各大学でマスク予備相当数を確保して持参する。
- ・試合時における選手も面下にスポーツマスク着用義務。審判員のフェースシールド着用義務。
- ・食事は決められた場所以外では禁止し、食後の始末は各自主催者ルールを順守する。
- ・大会中、大会終了、帰宅後でも体調変化・体調不良が確認された場合は、速やかに大学指導者に報告して指示に従うと共に大会主幹団体委員長に報告すること。
- ・本大会参加大学は大会終了後2週間目に最終安全確認を各方面委員長に行う。